

## シラバス

科目名:	生涯学習概論 (地域教育概論) 共通
------	--------------------

●科目主任 橋弘章 (島根大学教育学部附属教育支援センター特任教授)

●単位数: 2単位

●ねらい、到達目標

生涯学習及び社会教育の本質について理解する。

## ●科目概要

生涯学習及び社会教育の本質に関する理解を深めるために、生涯学習の理念と施策、社会教育の意義と展開、社会教育に関する法令、社会教育主事・社会教育指導者や社会教育施設の役割、生涯学習社会と学校・家庭・地域の関係等の内容について扱う。

## ●授業計画 (100分×16回)

	期 日	教育方法	配当時間	講義内容・テーマ	内容	講 師
第1回	7/19 (日)	講義 /対面LIVE	2	生涯学習の系譜と現代的な意義	生涯学習の理念に関する歴史的背景及び社会的文脈について解説する。 ・社会の変化と多様な学習活動の展開 ・生涯学習社会構築の意義と課題 ・生涯教育論、生涯学習論の展開 等	志々田まなみ (国立教育政策研究所総括研究官)
第2回	7/24 (金)	講義 /オンデマンド	2	生涯学習振興施策と社会教育行政の役割	国の生涯学習・社会教育に関する施策について、施策の背後にある考え方を含めて解説する。また、社会教育士に期待する役割や今後の展開のビジョンなどについて触れる。 社会教育関連法令や各種答申・提言について解説する。	文部科学省総合教育政策局
第3回	7/29 (水)	講義 /オンデマンド	2	学校と地域の連携・協働と社会教育の役割	学校と地域の連携・協働における社会教育の役割について、事例を基に考察する。 ・地域の教育力の意義、特質 ・学校、地域、家庭の連携・協働 等	岡崎エミ (安平町教育委員会 子育て・教育総合専門官)
第4回	8/3 (月)	講義 /オンデマンド	2	地域活性化に向けた地域経営 (地域活性化と社会教育)	地域課題の把握・分析と地域づくりマネジメント、地域の未来、プロセスと土壌の重要性	牧野篤 (大正大学地域創生学部教授)
第5回	8/7 (金)	講義 /オンデマンド	2	しまねの社会教育で大切にしたいこと	発達段階に応じた地域資源を活用した教育活動の意義について、島根県において展開する小中学校のふるさと教育や高校の地域課題解決型学習の取組の実際を通して解説する。	島根県教育庁社会教育課
第6回	8/17 (月)	講義 /オンデマンド	2	社会教育の意義・特質と方法	社会教育の意義、特質について解説するとともに、社会教育の展開に関係する制度的、物的、人的仕組みについて解説する。 ・社会教育の定義と意義、特質 ・日本における社会教育の歴史的展開 等	清國祐二 (大分大学大学院教育学研究科教授)
第7回	8/26 (水)	講義 /オンデマンド	2	日本の教育政策の動向	特に、学校と地域の連携・協働の動向や意義、社会に開かれた教育課程の実現、そこに関わる地域学校協働活動推進員などのコーディネート機能を果たす人材の重要性等について解説する。	志々田まなみ
第8回	9/2 (水)	講義 /オンデマンド	2	社会教育主事・社会教育指導者の役割と職務	社会教育主事に今後期待される役割や求められる資質・能力、社会教育士への期待など、社会教育主事や社会教育指導者の役割や職務について解説する。	清國祐二
第9回	9/9 (水)	講義 /オンデマンド	2	社会教育施設の役割と機能① ・公民館	公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等を取り上げ、それぞれの役割や機能、今日的な意義について解説する。 ・社会教育施設の機能と種類	青山鉄兵 (文教大学人間科学部准教授)
第10回	9/18 (金)	講義 /オンデマンド	2	社会教育施設の役割と機能② ・図書館、博物館、青少年教育施設等	・社会教育施設の物的・人的仕組み ・社会教育施設の運営と住民参加 ・関係法令や答申 等	青山鉄兵
第11回	9/25 (金)	講義 /オンデマンド	2	生涯学習社会と学校教育	生涯学習社会の実現に向けた学校教育の役割、学校教育の現代的意義、学校教育の基本法令、社会に開かれた教育課程、地域との連携・協働の関係づくりの視点等について解説する。	熊丸真太郎 (大分大学教育学部准教授)
第12回	10/2 (金)	講義 /オンデマンド	2	生涯学習社会と家庭教育	家庭教育支援をめぐる現状や課題等を踏まえながら、生涯学習社会の実現に向けた家庭教育の役割について解説する。	清國祐二
第13回	10/9 (金)	講義 /オンデマンド	2	公共経営の中のNPO~その見方、関わり方	公共経営に関する主要な論点について解説する。 ・公共経営の全体像 ・NPOに関する基本的な知識 ・協働 等	毎熊浩一 (島根大学法文学部教授)
第14回	10/19 (月)	講義 /オンデマンド	2	学びを通じた還流づくりと社会教育	地域に関わる人を増やし魅力ある地域づくりにつながる仕掛けや戦略、必要な社会教育の視点等について、海士町における事例をもとに解説する。	豊田庄吾 (三次市教育委員会教育部次長)
第15回	10/26 (月)	講義 /オンデマンド	2	地域づくりと関係人口	人口減少時代の地域づくりのキーワードと言われる関係人口について、なぜ生まれたのかという社会背景や現代的意義などを、豊富な事例を通して体系的に学ぶ。	田中輝美 (島根県立大学地域政策学部准教授)
第16回	11/21 (土)	講義 /対面LIVE	2	現地実習	島根県における社会教育施策の現状・課題を取り上げるとともに、(派遣)社会教育主事と社会教育士の連携による社会教育実践の展開について理解を深める。	大野公寛 (島根大学大学院教育学研究科講師)

## ●評価について

出席状況 学習態度 授業事後レポート

## シラバス

科目名:	生涯学習支援論（地域学習支援論） 一部選択授業
------	-------------------------

●科目主任 中村 怜詞（島根大学大学教育センター准教授）

●単位数: 2単位

●ねらい、到達目標

学習者の多様な特性に応じた学習支援に関する知識及び技能の習得を図る。  
特に、子ども・青少年を中心に、地域資源（人・もの・こと・課題）を活かした探究的・課題解決型学習等を重点とした、学習支援に関する知識及び技能の習得を図る。  
【選択授業】大人（特に若者）を中心に、地域づくりにおける対話・参画・協働・課題解決等を重点とした、学習支援に関する知識及び技能の習得を図る。

## ●科目概要

学習支援および地域学習（ふるさと教育、キャリア教育、地域課題解決型学習等）に関する教育理論、学習プログラムの編成、効果的な学習支援方法、ファシリテーション技法等の内容について扱う。

## ●授業計画（100分×18回）

	期 日	教育方法	配当時間	講義内容・テーマ	※扱う内容、手法等	講 師
第1回	7/18 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	オリエンテーション	オリエンテーション ファシリテーション、ワークショップ、構成主義、現場のブリッジ、哲学対話	中村 怜詞 (島根大学大学教育センター准教授) 横山 弘毅 (高梁市地域教育魅力化コーディネーター) 豊田 庄吾 (三次市教育委員会教育部次長)
第2回	7/31 (金)	講義 /遠隔LIVE	2	これからの「学び」の話をしよう～ 学習者としてのあり方と伴走～	学びを通じた地域づくり（人材還流） 対話技法、越境学習、地域資源の活用	豊田 庄吾
第3回	8/28 (金)	講義 /遠隔LIVE	2	カリキュラム・マネジメント	カリキュラムの設計と運営組織の在り方、作り方	中村 怜詞
第4回	9/12 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	アイスブレイク	アイスブレイク	横山 弘毅
第5回	9/12 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	ファシリテーション演習&講義	ファシリテーション技法と類型、心理的安心安全、傾聴、経験学習サイクル、プラウインドハブ スタンス理論	豊田 庄吾
第6回	9/12 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	ワークショップデザイン演習	インストラクショナルデザイン、ロールプレイング	中村 怜詞
第7回	9/13 (日)	講義・演習 /対面LIVE	2	ワークショップデザインの理論と実践①	ワークショップデザイン演習	中村 怜詞 横山 弘毅 豊田 庄吾
第8回	9/13 (日)	講義・演習 /対面LIVE	2	ワークショップデザインの理論と実践②	評価とフィードバック	中村 怜詞 横山 弘毅 豊田 庄吾
第9回	9/13 (日)	講義・演習 /対面LIVE	2	リフレクション演習&講義	リフレクションの意義・手法	中村 怜詞 横山 弘毅
第10回	10/7 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	問いのデザイン/良質な対話	コンピテンシー、参画の梯子、真正な学び、見立て（学習者分析）	中村 怜詞
第11回	10/28 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	地域づくりにおけるワークショップ デザイン	まちづくりや社会教育活動への地域住民の参加	中村 怜詞 ★山口 覚(津屋崎ランチ代表)
第12回	11/11 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	【選択①】 学習環境の設計と実現	学校の教育プログラムに地域の方をどう巻き込むか、生徒を地域に埋め込むステップ	中村 怜詞 横山 弘毅
				【選択②】 ワークショップの企画と実践 ～高梁未来カレッジを事例に～	ワークショップを活用した地域づくりの事例研究	
第13回	11/30 (月)	講義 /遠隔LIVE	2	学びの評価とフィードバック～ルーブリックの開発～	ルーブリック、フィードバック	豊田 庄吾 ★村岡 詩織(島根県立大学地域政策学部地域づくりコース講師)
第14回	12/11 (金)	講義 /遠隔LIVE	2	ワークショップの理論と実践①	ワークショップの設計演習	中村 怜詞
第15回	12/23 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	ワークショップの理論と実践②	ワークショップの設計演習	中村 怜詞
第16回	1/6 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	ワークショップの理論と実践③	ワークショップの設計演習	中村 怜詞
第17回	1/23 (土)	演習 /対面LIVE	2	ワークショップ演習①	実践（ロールプレイ）とまとめ	中村 怜詞 横山 弘毅 豊田 庄吾
第18回	1/23 (土)	演習 /対面LIVE	2	ワークショップ演習②	実践（ロールプレイ）とまとめ	中村 怜詞 横山 弘毅 豊田 庄吾

## ●評価について

出席状況	学習態度	授業事後レポート
------	------	----------

## シラバス

科目名： 社会教育経営論（地域教育経営論） 一部選択授業

●科目主任： 大野公寛（島根大学大学院教育学研究科講師）

●単位数： 2単位

●ねらい、到達目標

多様な主体と連携・協働を図りながら、学習成果を地域課題解決や地域学校協働活動等につなげていくための知識及び技能の習得を図る。

## ●科目概要

地域社会の構造と学習課題の把握、地域教育のビジョンと経営戦略・広報戦略、地域と学校の協働による教育魅力化と地域活性化、コーディネート機能と地域内外のネットワークの形成、地域教育のチームと協働体制の構築、地域人材の育成と評価・PDCAサイクル等の内容について扱う。

## ●授業計画（100分×15回）

	期 日	教育方法	配当時間	講義内容・テーマ	※扱う内容、手法等	講 師
第1回	7/18 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	目指す社会教育士像の設定	セルフマネジメント・チームづくり (社会教育士の役割や活動の実際を知り自身の理想の社会教育士像を描く)	大野公寛 (島根大学大学院教育学研究科講師) 谷上元織 (益田市立戸田小学校教頭) 栗石まどか (一般社団法人みんなのまなびや)
第2回	7/19 (日)	講義 /対面LIVE	2	学習課題と学習要求の把握・分析	セルフマネジメント・チームづくり (実践者・学修者としての現在地を自覚し、本講習での学習目標を設定する)	大野公寛 谷上元織 栗石まどか
第3回	7/22 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	地域社会・学校の学習要求の把握・分析	地域の社会構造と学習課題・学習要求の把握・分析	大野公寛 谷上元織 栗石まどか
第4回	8/5 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	ビジョン・戦略の立案	社会教育経営における中長期ビジョンとロジックモデルの構想、教育経営参加	谷上元織 ★岩本悠 (一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム)
第5回	8/19 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	施策・事業立案と実行のための調整と働きかけ	協働論、ロジックモデルを踏まえた個人プロジェクトへの落とし込み	栗石まどか ★阿部剛志 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究事業本部上席主任研究員)
第6回	9/16 (水)	講義 /遠隔LIVE	2	地域学校協働活動の評価とPDCAサイクル	PDCA、魅力化評価システム、学びの土壌、評価の意義と方法（現場の現状・課題・強み等の把握・分析）	谷上元織 ★喜多下悠貴 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究事業部社会政策部)
第7回	10/14 (水)	講義・演習 /遠隔LIVE	2	学校と地域・多様な主体による協働体制	多様な主体による協働体制・コンソーシアム・コミュニティ・スクールの構築とコーディネート機能	栗石まどか
第8回	11/4 (水)	講義・演習 /遠隔LIVE	2	外部資源の調達	外部資源調達の多様な手法と考え方、社会教育行財政の役割	大野公寛 谷上元織 栗石まどか
第9回	11/21 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	事例研究 (社会教育行政の経営戦略)	社会教育行政、(派遣)社会教育主事の役割	大野公寛 谷上元織 栗石まどか 門脇亨平 (合同会社NOWA)
第10回	11/21 (土)	講義・演習 /対面LIVE	2	事例研究 (社会教育行政と地域活性化)	社会教育と地域づくり・仲間づくり、地域ネットワークの形成とコーディネート人材の役割	大野公寛 谷上元織 栗石まどか 門脇亨平
第11回	11/22 (日)	講義・演習 /対面LIVE	2	事例研究 (社会教育施設の経営戦略)	社会教育施設と職員、社会教育施設や学校施設の活用	大野公寛 谷上元織 栗石まどか 門脇亨平
第12回	11/22 (日)	講義・演習 /対面LIVE	2	事例研究 (社会教育における地域人材の育成)	地域社会における主体の生成と学び、学修者の実践中間発表	大野公寛 谷上元織 栗石まどか 門脇亨平
第13回	12/16 (水)	講義・演習 /遠隔LIVE	2	価値の見える化と広報戦略	社会教育的価値の見える化、社会教育における広報の目的と方法	大野公寛 栗石まどか
第14回	1/13 (水)	講義・演習 /遠隔LIVE	2	学習効果の評価と活用	ルーブリック評価を活用した振り返り	大野公寛 谷上元織
第15回	1/20 (水)	講義・演習 /遠隔LIVE	2	学習ネットワークの形成	学び続けるネットワーク形成、実践共同体としての社会教育士コミュニティの創出、	大野公寛 谷上元織 栗石まどか

## ●評価について

出席状況 学習態度 授業事後レポート

## シラバス

科目名： 社会教育演習（地域教育演習）

●科目主任 大野公寛（島根大学大学院教育学研究科講師）

●単位数： 2単位

●ねらい、到達目標

社会教育主事（士）の職務を遂行するために必要な資質及び能力の総合的かつ実践的な定着を図る。  
特に、地域教育に関する現場体験や地域の課題解決型学習に関する実践演習とする。

## ●科目概要

社会教育に関する実践演習や課題探究等を内容とする。

## ●授業計画（100分×14回）

期 日	教育方法	配当 時間	講義内容・テーマ	扱う内容、手法等	講 師
第1回	7/18 (土) 演習 /対面LIVE	2	学修課題の探究とチームビルディング ①	社会教育主事・士を中心とした山陰地域内外の社会教育人材の活動内容やあり方を知り、自身の学修課題を省察する。	○大野公寛 (島根大学大学院教育学研究科 講師) ○中村怜詞 (島根大学大学教育センター 准教授) ○西嶋一泰 (島根県立大学地域政策学部 講師) ○熊丸真太郎 (大分大学教育学部門 准教授)
第2回	7/19 (日) 演習 /対面LIVE	2	学修課題の探究とチームビルディング ②		
第3回	8/21 (金) 演習 /遠隔LIVE	2	個人テーマ別課題プロジェクト検討① (ゼミ選択)	受講者の学修課題等に応じて、演習を進めるための5人程度の小グループを構成する。	○上水陽一 (宮崎県教育庁教育政策課)
第4回	8/24 (月) 演習 /遠隔LIVE	2	個人テーマ別課題プロジェクト検討② (学習計画の検討)	自身の現場における解決したい課題や取り組んでみたい活動について構想する。	○藤井礼子 (隠岐島前町村組合/島根県社会教育委員) ○岩下静華 (一般財団法人 島前ふるさと魅力化財団 コーディネーター/島根県立吉賀高等学校 スタッフ)
第5回	9/7 (月) 演習 /遠隔LIVE	2	テーマ別ゼミ活動①	講師・受講者相互の対話やテーマに応じた学修を通して、課題の構造的な分析や再定義等を行うとともに、受講者自身の現場での実践を進めながら学修を深める。	○山本竜也 (島根県立津和野高等学校特任コーディネーター) ○横山弘毅 (高梁市地域教育魅力化コーディネーター) ○山崎萌果 (株式会社ロフトワーク クリエイティブディレクター)
第6回	9/28 (月) 演習 /遠隔LIVE	2	テーマ別ゼミ活動②		
第7回	10/13 (火) 演習 /遠隔LIVE	2	テーマ別ゼミ活動③		
第8回	10/30 (金) 演習 /遠隔LIVE	2	ルーブリックによる中間リフレクション	ルーブリックを用いたリフレクションを行う。	
第9回	11/13 (金) 演習 /遠隔LIVE	2	テーマ別ゼミ活動、課題プロジェクトのブラッシュアップ①	講師・受講者相互の対話やテーマに応じた学修を通して、実践の評価や改善、課題の構造的な分析や再定義等を行うとともに、受講者自身の現場での実践を進めながら学修を深める。	
第10回	11/22 (日) 演習 /対面LIVE	2	集合研修（社会教育事例研究）	島根県を中心とした社会教育の事例研究を通して、自身のプロジェクトの改善を図る。	
第11回	12/4 (金) 演習 /遠隔LIVE	2	テーマ別ゼミ活動、課題プロジェクトのブラッシュアップ②	講師・受講者相互の対話やテーマに応じた学修を通して、実践の評価や改善、課題の構造的な分析や再定義等を行うとともに、受講者自身の現場での実践を進めながら学修を深める。	
第12回	12/18 (金) 演習 /遠隔LIVE	2	テーマ別ゼミ活動、課題プロジェクトのブラッシュアップ③		
第13回	1/12 (火) 演習 /遠隔LIVE	2	個人テーマ別課題プロジェクト最終報告	受講者の学修成果等について発表、リフレクションを行い、修了後の実践につなげる。	
第14回	1/23 (土) 演習 /対面LIVE	2	個人テーマ別課題プロジェクト振り返り	受講者の学修成果等について発表、リフレクションを行い、修了後の実践につなげる。	

## ●評価について

出席状況 学習態度 授業事後レポート